ＳＣＥＮＥ８　商品はどのような経路で消費者の手もとに届くのだろうか？

・対応教科書ページP（　　　　　　　　　　）

〇「和牛が食べたい」自分で育てて手に入れるには？

出典：『平成28年度畜産経営診断全国集計』（公益社団法人中央畜産会）より作成

|  |
| --- |
| 平成27（2015）年の1頭あたり生産費は70万5,120円  内訳　・畜費（肥育する子牛の購入に要した費用）：40万9,400円（約58％）  ・労働費：4万5,500円（約6％）  ・飼料費（自給飼料を含む）：19万2,800円（約27％）  ・建物と機械類の償却費：1万7,600円（約2％）  ・診療費・燃料代・修繕費などその他経費：3万9,820円（約6％） |

⇒この手間や時間を費やすことなく、消費者は商品を手に入れることができます。和牛を例にしてみると、和牛を育てる畜産家、和牛を加工する精肉工場、それを運ぶ運搬業者、実際に売ることになる小売業者と、多くの工程を経て私たちは商品を手に入れた訳です。つまり、商品は多くの**分業**によって消費者の手もとに届きます。そして、それぞれの工程において商品がお金と**交換**されています。これを**分業と交換**と言います。

Q１・スーパーマーケットなどの小売業者はどこから商品を仕入れるのか？

|  |
| --- |
| 生鮮食品 |
| 工業製品 |
| 輸 入 品 |

⇒商品が卸売業者や小売業者を経て消費者に届くまでの流れを、商品の**流通**といいます。流通業者は、生産者と消費者を結びつける役割を「分業」しています。商品の流通を専門的に行うのが、卸売業や小売業などの**商業**です。

Q２・会社の仕入れを工夫してみよう。

①流通費用をおさえるためにはどのような方法があるか？

|  |
| --- |
|  |

②私たちの会社の仕入れを、具体的に工夫してみよう。

|  |
| --- |
|  |

ＳＣＥＮＥ９　労働の意義と労働者の権利にはどのようなものがあるのか？

・対応教科書ページP（　　　　　　　　　　　）

Q１・労働が持つ重要な目的をまとめてみよう。（箇条書きでたくさんあげてみよう）

|  |
| --- |
|  |

⇒それぞれの企業が専門の仕事をすることによって、社会全体で役割分担を行っていることも押さえよう。これを**社会的分業**といいます。

Q２・自分の会社の従業員を募集する広告を考えましょう。

|  |
| --- |
| 会 社 名 |
| 仕事内容 |
| 販売会での給与　社長　…　　　　　　円　　従業員　…　　　　　　　円 |
| 勤 務 地 |
| 勤務時間　AM　　　　：　　　　～　　PM　　　　：  1日の労働時間　　　　　　時間 |
| そ の 他　～ この会社に入社するとこんな特典があります ～ |

※勤務地・勤務時間・その他の欄は、ある程度は仮想として考えて構いません。

　社長が司会をして、最終決定はすべて社長が行う。次回、模擬労使交渉を行います。